



共立女子大学・短期大学 教育改善に向けたアンケート（企業・団体等の皆様への調査）実施結果

1. 調査実施期間及び実施方法

実施期間 2026 年 1 月 27 日、2 月 2 日、2 月 12 日

実施方法 本学の卒業生が就職した企業・団体 3 社へのインタビュー調査

2. 設問項目

- 本学卒業生の能力発揮の実態
- 入社前に身につけてほしい能力
- 現場での評価と課題
- 大学教育・リカレント教育への要望

※回答選択肢(26 項目)は、最終ページに別紙として掲載。

3. 回答率

	2025 年度
調査依頼数	3

No.	企業名	業種・特徴	実施日	対象
1	A 社	IT ソリューション / 本社 4 名在籍	2026 年 1 月 27 日	1 年目・マーケター 1 名
2	B 社	印刷 / 本学卒採用は初	2026 年 2 月 2 日	2 年目・生産管理部 1 名
3	C 社	建築資材商社 / 女性比率高・7 名在籍	2026 年 2 月 12 日	1 年目～ベテラン計 6 名

3 社に共通して見られた傾向【総括】

1. 本学卒業生への共通した好印象

「素直さ・真面目さ」が3社すべてで言及され、本学卒業生に共通する人物像として高く評価されている。

対人関係を築く力・対外的なストレス耐性(感情制御)が、入社時点ですでに備わっている能力として評価される傾向にある。

困難や挫折を乗り越える「芯の強さ・へこたれない精神」が、複数社で具体的なエピソードとともに語られた。

2. 共通する課題・成長への期待

「自ら前に出る・発信する力」の弱さが共通の課題。対外対応は得意でも、社内での自己発信や場をリードする姿勢に遠慮が見られるという指摘が複数社であった。

3. リーダーシップについて

リーダーシップ(他者と協働して目標達成を目指す力)は「先頭に立って引っ張る力」ではなく、「他者と協働する力」「自分をリードする力(セルフリーダーシップ)」として発揮・期待される傾向にある。

4. 情報分析・計画立案・実践行動について

「情報分析・計画立案・実践行動」は入社後の経験で習得するものと各社とも捉えており、入社時点では強く求めている。

5. 大学への共通した要望

「社会人と接する機会の創出」を3社すべてが要望。OG訪問・インターンシップ等を通じ、学生が社会人と話すことに慣れ、将来像を具体化できる機会を求めている。

「ゼロベースで考え抜く課題解決経験」の重要性。大学がお膳立てした枠組みに乗るのではなく、複雑な社会課題に自ら向き合う経験が実務に直結すると指摘された。

リカレント教育は「業務・キャリアへの還元」が投資判断の基準。短期間(週2~3回/3回講座程度)・オンライン活用可・費用は企業負担で10万円以内が現実的との声があった。

企業別ヒアリングサマリー:A社

対象

事業戦略本部・水産関連事業グループ所属の1年目マーケター。少人数ユニットでゼロからのサービス創出・マーケティングリサーチに従事。

入社前に身につけてほしい能力

- ・ 人間としてのコアな部分(1.他者との豊かな関係を築く能力、2.目標に向けて協力的に時間を進める能力、3.場を読み、組織を動かす能力、4.ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力、5.前向きな考え方、やる気を維持する能力、6.主体的に動き、よい行動を習慣づける能力)は後から身につけさせにくいので、入社時点で備えてほしい。
- ・ 7.様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力/8.課題解決のための適切な計画を立てる能力/9.目標達成に向け、実践行動する能力は、実務経験の中で身につく側面が強く、入社時点では強く求めな

い。

現場で役立っている・評価されている能力

- ・ 12.現象や事実の背後に潜んでいる問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力(本質を捉える力)が非常に優れ、打合せ後のコメントに本質的な発言が多い。
- ・ 読書習慣もあり、22.論理的思考力 23.文章表現力が高い。19.数理的思考力とデータ分析・活用能力、20.専門以外の幅広い知識や教養も一定の基礎が備わっている。
- ・ 14. リーダーシップ (他者と協働して目標達成を目指す力)を、「他者と協働して進める」意味で想定以上に発揮。情報共有の質・タイミングも的確。

課題に感じている能力

- ・ 9. 目標達成に向け、実践行動する能力について、事務作業などの習得に当初時間を要した(期待値と発揮にギャップ)。
- ・ 24. プレゼンテーション能力のうち、資料のデザイン・視覚的構成に苦手意識。テキスト表現は得意だが図解・スライドデザインが簡素。
- ・ 志望のメーカーとして採用されたが、配属が「水産」というニッチ分野であり当初は戸惑い。現在は受容し前進中。

大学への要望/リカレント教育

- ・ 複雑な社会課題にグループワークで向き合う経験、実務経験を持つ教員の増加を要望。
- ・ 「働くことのポジティブなイメージ」を学生が持てる機会の提供を希望 (働くことを根拠なく怖がる学生が多い)。
- ・ リカレントは助成金が動機になりやすく、オンライン活用で週 2~3 回程度の構成が現実的との意見。
- ・ 本学の就職支援は他大学比で非常に手厚く、イベント参加率も高い。継続を希望。

企業別ヒアリングサマリー:B 社

対象

生産管理部・物流管理課所属の 2 年目。本学卒業生の採用は今回が初。完成印刷物の配送手配等の事務業務に従事。

入社前に身につけてほしい能力

- ・ 企業理念「個人の尊重と自主独立」の体现のため、1.他者との豊かな関係を築く能力/4.ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力/5.前向きな考え方、やる気を維持する能力を重視。
- ・ テレワークを行わず対面コミュニケーションが必須のため、1.他者との豊かな関係を築く能力が特に重要。
- ・ 困ったときに自ら「手を貸してください」と言える力。

現場で役立っている・評価されている能力

- ・ 1.他者との豊かな関係を築く能力・4.ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力が入社時から備わっていた。
- ・ 急ぐドライバーから粗野に接せられても感情を表に出さず冷静に対応できる点を高く評価。
- ・ 挨拶・電話対応への率先した取り組み、ベテランとの差がある環境でも淡々とこなす姿勢を評価。

課題に感じている能力

- ・ 対外対応は得意だが、社内での感情表現・自己発信が弱く抱え込みがち。3.場を読み、組織を動かす能力の向上に期待。
- ・ 8.課題解決のための適切な計画を立てる能力(優先順位付け)に課題。着手しやすいものを優先し本来の目的を見失うことがある。
- ・ 9.目標達成に向け、実践行動する能力/13. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力が不足(周囲の状況を自ら取りに行く動き。経験で習得可能と認識)。
- ・ 25.PC の利活用スキル (Excel 関数・入力速度)でデータサイエンス必修大学の学生と差を感じる。AI より先に Office 基礎の習得を希望。
- ・ 14. リーダーシップ (他者と協働して目標達成を目指す力)は自己肯定感の低さから前に出られない傾向。オープンカンパニーでも遠慮が見られた。

大学への要望/リカレント教育

- ・ 面接で緊張し本来の良さを出せない学生が多い。OG 訪問・インターンで社会人と話す機会を増やしてほしい。
- ・ 活躍する OG と連携したインターンは将来像の具体化に有効。来年以降の連携を検討したい。
- ・ 紙以外への事業転換に伴い、部署を越えた知識習得・チャレンジ精神が求められる(社内『修行』的な動きも)。
- ・ 本学学生の「へこたれない精神」「真面目さ」は自社風土と相性が良く、より密な関係構築を希望。

企業別ヒアリングサマリー:C 社

対象

建築資材商社(社員 450 名・女性比率高)。本学卒業生 7 名在籍、1 年目～統括マネージャー・主任まで計 6 名が回答対象。

本学卒業生への印象(強いキャリア志向と先駆者精神)

- ・ 過去 20 年程度にわたり「良い意味で強い」印象。前例のない一歩を切り開くことを臆さない人材が多い。
- ・ 社内初の育児休業取得、一般事務職から技術職・営業職への転換など「女性の先駆者」となる卒業生が揃う。
- ・ 1 年目社員は最も「泥臭い」とされる無機建材事業部への配属を自ら希望するなど、未開拓分野への挑戦を評価。
- ・ 男性中心の業界で、人間関係を丸く収めるのではなく対峙して乗り越える強さを持つ。

入社時に身につけてほしい能力

- ・ 関わる人数が多いため、2.目標に向けて協力的に仕事を進める能力・1.他者との豊かな関係を築く能力は不可欠。5.前向きな考え方、やる気を維持する能力は絶対的に必要。
- ・ アカデミックスキルより、6.主体的に動き、よい行動を習慣づける能力(行動に結びつく力)を重視。
- ・ 縦構造の強い組織のため、若いうちは「組織を動かす力」より、まず環境適応のための 3.場を読み、組織を動かす能力のうち“場を読む力”を大切にほしい。
- ・ ジョブ型ではないため、突出よりも全体のバランスの良さを評価。

現場で役立っている能力

- ・ 泥臭い現場でも食らいついて頑張る 6.主体的に動き、よい行動を習慣づける能力(実行力)。役員相手でも同列に意見を言い切るプロ意識が組織を活性化。
- ・ 普段控えめな社員が課外活動で突如 14. リーダーシップ (他者と協働して目標達成を目指す力)を発揮し、そ

の後の社内コミュニケーションが円滑化した例も。

- ・ 長く働く視点では、他者の評価に依存せず 5.前向きな考え方、やる気を維持する能力(自分でやる気を維持する力)が重要。
- ・ 17.18.外国語を使う能力は輸入材・貿易関連部署で使用するが他部署では場面なし。26.取得資格は必須ではないが、PC スキル・自動車免許・建築系専門性があると活躍しやすい。

課題に感じている能力（1 年目社員）

- ・ 自身の考え・意思を明確に発信する力が弱い。守られることを受容するだけでなく「自分はこうしたい」を体現することが課題。
- ・ 1.他者との豊かな関係を築く能力はあるが、自分の世界を話すことに夢中になり「他者を受容する」深さが不足する場面も。
- ・ 言われたことの背景を深く考え、自分なりに受け止めて行動する「思考の深化」を期待。

大学への要望/リカレント教育

- ・ 他者を引っ張る力より、まず「自分をリードする力」（セルフリーダーシップ）と、周囲を支えるフォローワーシップのバランスを養ってほしい。
- ・ お膳立てされた企画ではなく、学生がゼロベースで考え抜く課題解決経験を積ませるべき。
- ・ 流行りの仕事ばかりではないため、多様な背景の社会人と向き合う経験が必要（敬語だけでは職人と意思疎通できない）。
- ・ 「不得意な場でどう努力したか」という困難への向き合い方・プロセスがより重要になる。
- ・ リカレントは仕事・女性のキャリアアップへの還元が投資判断基準。3 回講座（3 日間）・10 万円以内なら人事予算で検討可能。
- ・ 「働く女性を輩出する」本学の理念は卒業生を通じて体現されており、女子大学として存続を期待。

入社前に身に付けてほしい能力（3 社比較）

各社が「入社前に重視する」と挙げた能力を、コンピテンシー番号で整理した（◎＝特に重視、○＝重視）。

入社前に重視する能力	A 社	B 社	C 社
1. 他者との豊かな関係を築く能力	◎	◎	◎
2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	◎		◎
3. 場を読み、組織を動かす能力	◎		◎ (場を読む力)
4. ストレスのかかる場面でも、感情の揺れを制御する能力	◎	◎	
5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	◎	◎	◎
6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	◎		◎

3 社に共通するのは、1.他者との豊かな関係を築く能力と、5.前向きな考え方、やる気を維持する能力。一方、7.様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力/8.課題解決のための適切な計画を立てる能力/9.目標達成に向け、実践行動する能力は、各社とも「入社後の実務で習得する能力」と位置づけ、入社時点では強く求めている点も共通している。

大学への提言・要望の総括

キャリア教育・カリキュラムへの示唆

- ・ 社会人と接する機会（OG 訪問・インターンシップ）を拡充し、面接で緊張せず本来の力を出せるよう「社会人と話すことへの慣れ」を醸成する。特に活躍 OG との連携は将来像の具体化に有効。
- ・ お膳立てされた枠組みではなく、ゼロベースで複雑な課題に向き合い考え抜く経験（グループワーク含む）を提供する。
- ・ リーダーシップ教育は「先頭に立つ力」より、セルフリーダーシップ・フォロワーシップ・協働力に重点を置く。
- ・ 自己発信力（自分の考えを言葉にし体現する力）と、相手を受容する深さの双方を伸ばす機会を設ける。
- ・ 実務基礎スキルとして、Excel 等の Office/PC 利活用スキルの底上げ、視覚的アウトプット（資料デザイン・図解）への意識づけが有効。
- ・ 「働くことのポジティブな実感」「不得意な場で努力したプロセス」を経験できる機会を提供する。

リカレント教育への示唆

- ・ 企業の投資判断基準は「業務・キャリアへの還元」。効果が業務に結びつく設計が求められる。
- ・ 受講形態は短期集中（週 2～3 回/3 回講座程度）・オンライン活用可が現実的。移動時間が大きなネック。
- ・ 費用は企業負担で人事予算 10 万円以内が検討の目安。助成金制度の活用も動機になりやすい。
- ・ 「働く女性のキャリアアップ」に資する講座は、本学の理念とも合致し企業の期待が高い。

別紙:事前 Web アンケートでの能力評価

能力項目(26 項目)			
区分	項目名	入社前に身につけてほしい能力	入社時に身につけていた能力
人に向き合う力 (対人基礎力×コンピテンシー)	1. 他者との豊かな関係を築く能力		
	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力		
	3. 場を読み、組織を動かす能力		
自分に向き合う力 (対自己基礎力×コンピテンシー)	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力		
	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力		
	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力		
課題に向き合う力 (対課題基礎力×コンピテンシー)	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力		
	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力		
	9. 目標達成に向け、実践行動する能力		
思考力 (※リテラシー)	10. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力		
	11. 収集した情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力		
	12. 現象や事実の背後に潜んでいる問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力		
	13. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力		
本学の重要指標	14. リーダーシップ(他者と協働して目標達成を目指す力)		
アカデミックスキル	15. 大学の専門科目で学んだ知識・技能		
	16. 大学の教養科目で学んだ知識・技能		
	17. 外国語を使う能力(英語)		
	18. 外国語を使う能力(英語以外)		
	19. 数理的思考力とデータ分析・活用能力(数理・データサイエンス、情報科学など)		
その他	20. 専門以外の幅広い知識や教養		
	21. 文理融合の領域横断的な知識や教養		
	22. 論理的思考力		
	23. 文章表現力		
	24. プレゼンテーション能力		
	25. PC の利活用スキル		
	26. 取得資格		

※期待度／習得度

◎:とても当てはまる ○:当てはまる △:どちらともいえない ▲:あまり当てはまらない ×:当てはまらない

以上